



年忘新角力考

特
遠 13
1925
7



特別

1925
-5



上席

吾妻能百物かゝる里ハとの漢く
在郷乃茶能み嘸そ賤一久
京の目利茶系一ハ念る有
似之り安年浪義忠風流
家影又茶の南よとろせむそ
昼ろろ所一解衣あそむは
好文人若めんく日夜所

舌飲者一之端かめ既よ
空名子師走解日妻能
山ふ化候茶影大江屋
去儀みゆりまふ手をあひせ
志り常んそん
ヨウイヤナ
其去か能阿一を語之茶
酒能此以自能ま動
志やく一の徒よハあそく

元考考之云憲又付聲之
神一考以之ひく巾の山と解
考中にかましく双方聲を見合
多と危切備くま考今且弦公
た〜免 浪集

對山



友考又十考卷頭より此考又おく
但し合考より考考考を以て

對山考△合印

下物考○合印



年忘彫角力考一

○画工の撥摺

瀬川

去方よ表白作を以て○る画工を以て
何日一人来りてあんを考まふ 画工之考ん
四十過く家人おしした男あり何の法用と考
弦を少〜おれ中し何でり考ごりますイヤ
考ましく考あまといまの穢と考して下され異
考〜いぶあづししおまのびだて考ごり考
されは是らの今考ある十二支の七の目考判

拙者ハ寅のちり女たハ子のちりておぼる由ニ福
はいよこして常掛ぶちがけよこしておぼはめりよて
とめれぐ禹ユ ああこち子さぬおぼりよせぬらほ
申のちりのは子があらば襦ぬえ一疋で海まきるが
ち

△外ウチぢり

可子

小ぢめの女房はしあづめの女房を門口にあらせよ
ておきくさんあちの芝居わらわでん跡あととあつて二ッ目
えよあぐお出ん久 おきく マア先まへお出そ一たら
とらるぞくとあぢおひめあぢくして改あらためよとの

門口うおまきくさんよおお出せんどのとらハ4たや
あつてなあちの人のぢよとやあつてぬれをあらたあ
今切きてとらあつてぬれをあらた

○辻つじ出雲いづものりき

菅水

俄よからよ辻出雲いづもをうらまを旅人たびびとはさうや見え合あい
ちうき来きさるぬえコレハハ去来きことちりハイさのいッ家
うらとあ羽うのよいでよびよまのりほしとああフムおれを
大おの掬あひがよこしぬらあけとやあらハ私わがもあつ
がけあせおとも中ちゆうはせうよ初はつと恥ちぢああるものぢ

あざりまきさつりこ 後かきでびざりまうとらはんさ
 早うかすーかうとく 持ちて いらぬむいざはむら
 あるてあざりまきさつりまうとせ輝たすでさうせ男を
 赤身しん体か人ざらむとやまきさつりもあまふら
 うひこのはは文おもッレハ 耳よりとたがひまたこ
 はまぬぬらうちぬかてそらをれるハま兼やたれ
 まーこ私いあな用のをきひとほーモウお別
 かもさアイヤ今のあろものいんかきさ
 アイヤまがうてハおえかーありまひぬは



たうおまをさうぬいせうませうおまづりよお出あこ
こませとひくはかきおるとそんあうらうああり
弓、射、た、晴、やうじや

△山中の日記し 左又

飛、ち、や、山、中、を、あ、ら、ゆ、よ、向、の、お、び、く、と
して大い、の、う、を、み、松、の、根、より、木、を、を、て、て
の、る、ひ、を、や、ち、よ、お、ろ、さ、身、を、あ、よ、せ、た、
は、じ、し、う、ん、だ、い、く、び、を、の、づ、ら、ち、あ、ら、ち、ら
さ、ら、び、を、飛、掃、い、よ、く、せん、う、あ、く、毎、り、も、ゆ、せ、だ

た、ら、ん、ら、い、よ、あ、び、ま、ま、と、う、日、よ、あ、ら、ま、り、
た、ん、ら、い、よ、あ、び、ま、ま、と、う、日、よ、あ、ら、ま、り、

○家来の年忘 ト古

西、照、唐、系、余、よ、友、と、ち、四、人、膳、後、の、ま、け、ひ、ま、入
た、る、あ、佐、の、ま、の、ま、ら、た、ら、い、て、か、合、を、近、お、を、あ
さ、ら、い、ら、る、あ、と、ま、て、あ、ら、ま、あ、ら、ま、と、だ、ん、ま、ん、い、ご
あ、る、が、僕、一、人、も、見、い、び、せ、ひ、な、く、あ、く、だ、ん、ま、ん、ま、あ
あ、り、佐、の、ゆ、を、待、た、れ、ま、あ、ら、ま、ら、く、さ、ら、れ、た、あ、ら、ま、
ま、ら、く、ま、を、待、た、れ、ま、い、い、の、ま、い、い、と、目、を、な、ら、ぬ

あつりもそはじうちるドヤとひ付らばしづその
日のゆふくせむじんの男竹やうたをのらさむの
枝をわうけがはふを納うけ下坊しんとんで出て男を
うしろたさよたさよとあコリヤあのを余入あいの
なるんくうくあひてさのの

○ 佐吉 詣 東

去この位の位すんさんくーなるよし目のむより
本社、あつちるあつちるある位物を社之の
遠とほねまへまへとせしぐせす死あましく

さたは物ーるんぐエへくーとせしむんひん

△ 佐吉 女 鼎 一 梅

ままの肉へ出さ中節よるむむむむむむむむむむ
むむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
けるあつちるあつちるあつちるあつちるあつちる
状ぐるむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
あつちるあつちるあつちるあつちるあつちるあつちる
てあつちるあつちるあつちるあつちるあつちるあつちる
か、あつちるあつちるあつちるあつちるあつちるあつちる

